

ラチェット型電線仮支持具 取扱説明書

⚠ 注意

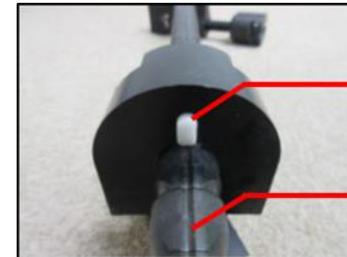
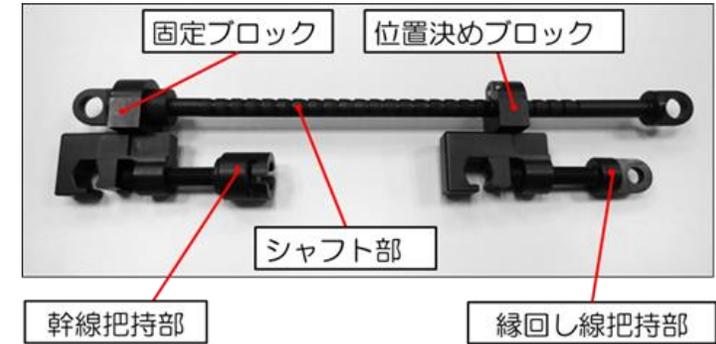
- ① 間接活線工法にて柱間分岐設備の電線の切断・接続を行う際、電線を仮支持することにより、1人でも安全に作業するための工具です。
- ② 樹脂製なので、高所からの落下により破損する恐れがあります。
- ③ 各部分のキャップボルト類は緩めないでください。
- ④ 各部分は調整済みですので、分解等はしないでください。
- ⑤ シャフト部分を無理な方向に曲げないでください。破損の原因となります。
- ⑥ 各回転部分および樹脂ネジ部への給油はしないでください。
- ⑦ 幹線把持部および縁回し線把持部の締付けは、必要以上に強く締付けしないでください。

仕様

材質	<チャック本体> ポリカーボネイト <ラッチ爪> ポリアセタール <シャフト> PBT樹脂
実用温度	-40℃ ~ 120℃
最大使用電圧	7,000V
適用電線	<銅> 60 ~ 150 mm ² <アルミ> 32 ~ 240 mm ²
重量	1.13kg

作業手順

ラチェット型電線仮支持具



留具

スライド溝



1) 位置決めブロックのスライド

- ・シャフト部に施したスライド溝に、位置決めブロックの留具を合わせて、フリーに可動ができる。

2) ホットスティックでの操作方法

幹線把持部

ツイストロックで箆合・締付け操作

縁回し線把持部

フック型工具で締付け操作

把持部（共通）

ヤットコで掴んで操作



3) 縁回し線切断作業

① 幹線へ幹線把持部を取り付ける。



② 縁回し線把持部を取り付ける。



③ 縁回し線の振れ止めバインド線を取り外す。



④ 分岐スリーブカバーを取り外す。



⑤ 分岐スリーブに近い位置で、縁回し線を切断する。



⑥ 切断した縁回し線の検電を行い、充電状態でないことを確認する。



⑦ 切断した縁回し線に、端末キャップを取り付ける。



⑧分岐スリーブカバーを取り付けし、粘着性ポリエチレンテープで養生する。



⑨縁回し線把持部を下げて、把持部間隔を広げる。



⑩縁回し線切断作業終了。

4) 縁回し線接続作業



①接続する縁回し線の端末被覆を剥ぎ取る。



②被覆を剥ぎ取った縁回し線に、端末キャップを取り付ける。



③接続相を確認し、仮支持具を幹線に取り付ける。



④把持部間隔を調整し、幹線と縁回し線を近づける。



⑤接続位置（被覆剥取箇所）を確認。



⑥縁回し線を接続。

- ・電線ヒレ取り
- ・被覆剥ぎ取り
- ・ブラッシング



⑦分岐スリーブを幹線に仮付けし、
縁回し線の端末キャップを取り外す。



⑧電線用ヤットコで、縁回し線を
分岐スリーブに仮付けする。



⑨圧縮工具で分岐スリーブを圧縮。



⑩分岐スリーブカバーを取り付けし、
粘着性ポリエチレンテープで養生
する。



⑪縁回し線の振れ防止として、バイン
ド線を使って幹線に固定する。



⑫縁回し線把持部を取り外す。



⑬幹線把持部を幹線から取り外す。



⑭縁回し線接続作業完了。